市広報

一部5円
発行所　伊万里市役所
編集兼発行人　山口正次
伊万里市大坪町甲2869
TEL710
印刷所　前田印刷所
TEL114甲

再建成否の鍵!!

市税完納に一段の御協力を

▽▽▽十二月は強調月間▽▽▽

お互いの生活向上のために

◆財政再建と市税

市は合併による税の持込滞納とデフレ経済及び炭界不況による税の減収、加えて失業対策費、生活保護費の激増等により、昭和二十九年度に於て、八千万円に上る赤字を生じました。

ところが昭和二十九年末、『地方財政再建促進特別措置法』の施行により、これが強行対策を要請せられたゝめ、自主三ケ年計畫を樹立し今日に至つたことは既に皆さんの御承知の通りであります

即ち本年度より向う三ケ年に亘り、『入るを量り、出づるを制する』経済原則に則り、極力消費的經費を抑制すると共に、投資的経費に於ても重点的に施行し、尚収入面に於ては積極的増税を避け、市民の理解と協力による完全徴収に期待をかけ、市当局、議会相協力して鋭意目的達成に努力致しているのであります。以上の見地より財政再建に占める税収の重要性に鑑みみ、これが滞納整理については、努めて自主的納税を指導するは勿論、出張督励を行うなど凡ゆる方法を講じて居り、市税の徴収成績如何が直接再建計畫の成否にかゝつているとも云へるわけであります。

◆滞納状況

十一月十五日現在
四三、六六六、六八九円
（六八二九件内大口九件）
外に保険税
七、七〇五、〇〇〇円
水道料
四、四〇五、〇〇〇円

◆滞納一掃に強行策

以上の通り徴税の重要性から、屡々強調期間を設け、成績向上に努めて参りましたが、結果は必ずしも良好とは申されない現状であります、尚移動市役所や世論調査の結果によつてみましても、温情ある当局の措置に領ける点もあるが、それには已づと限度があり、正直者が馬鹿を見ないためにも、この際断じて強行すべきである、との意向が大勢を占めて居り、世論は既に決しているやに思われるのであります、滞納者の方々には甚だお気の毒な次第ではございますが財政再建下に於ける市の事情及び一般市民の意向も忖度され、処分を待たず率先して完納下さるよう切にお願いする次第であります、尚特に今回の強調月間は従前と違い徴収、強制執行、物件引上の三班を編成し、滞納一掃を強行することになつており、特に御考慮戴きたいと存じます。

◆納税組合結成のお奨め

納税は国民の義務であり、凡て法によつて根拠づけられ、自主的納税を義務づけられていることは今更申す迄もありません、従つて納期日に遅れると督促手数料、延滞金を徴収せられ、最後には強制処分による差押を受けるなど酌量の余地はないのであります。

『お見えになつたら払いましよう』式な考へはこの際考え直すと同時に、どうせ一度は納めねばならぬ性質のものなら日頃からこれに對する準備をして置くことが肝心であり、又得策であります、それには納税組合をつくつておくより他によい方法はないと思われます、最早殆んどの部落では結成されていることゝは思いますが、まだつくつて居られないところではこの際結成せられ、わずかづつでも納税貯蓄をし、卒先して然も納得のゆく納税を行い、一日も早く財政を再建し、お互いの生活向上に協力せられるようお願い致します

郷土が生んだ二巨星

藤山雷太翁銅像 森永太一郎翁胸像 建設

愈々発足

場所は城山公園に決定

かねて計畫中の故藤山雷太、森永太一郎両翁の銅像建設は、その後度々準備委員会を開いて協議の結果、愈々期熟し、過般の委員会に於て、これが建設趣意書の決定を見、尚諸般の準備も整い本格的に発足することになつた。即ち橋口市長自ら建設委員長となり、名誉顧問に鍋島知事、日本商工会議所会頭藤山愛一郎氏、森永製菓株式会社社長森永太平氏の三氏を推戴、又顧問、相談役には本県出身衆参両院議員を初め知名の士が挙げられ、完成の暁は市ゆかりの地、城山公園にその雄姿を仰ぐことになつている。尚藤山翁の銅像は現在東京の本邸、現イタリヤ大使館内に建設してある北村西望氏製作にかゝる銅像を移設することに諒解が出来ており、又森永翁の胸像は斯界の権威、朝倉文夫氏が敏腕を振うことになつている、建設総資金は廣く全国的に募金が見込まれ、郷土が生んだ二巨星の遺徳を永く後世に伝へ、普く顕彰するため広く各界の協力が望まれている。

年末年始の虚礼は
廃止致しましょう

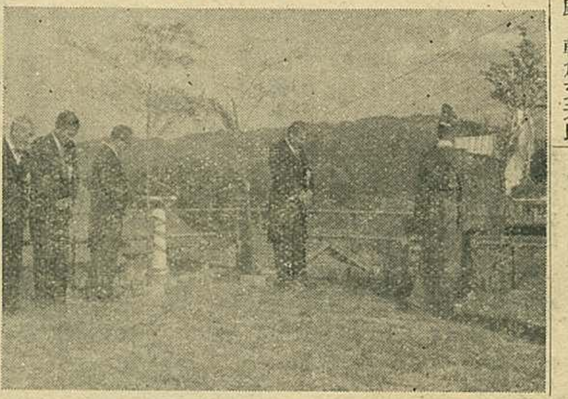
新生活運動を強力に推進し、冗費を省いて、わずかでも貯蓄に廻し、お互いの生活向上に努めましょう。

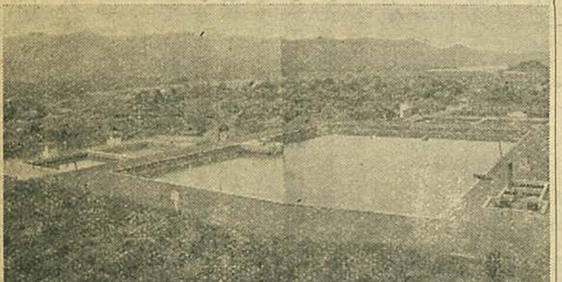
上水道増補工事

通水式

二十八日浄水場で執行

昭和二十七年、建設省の認可を受け、工費六千壱百万円を投じ、増補中の上水道工事は同二十八年二月起工以来三年有半を経過し愈々去る十月竣工した、濾過池二、配水池一、量水井一、塩素滅菌設備、配水計量設備、浄水場番舎改築その他柳井町、延命橋線及び川東線の増設、築港線鉄管取替等となつている、市では二十八日午前十時より浄水池に於て来賓多数を招き盛大な通水式を挙行した。





上は　完成した浄水場

右は　通水式々場

お知らせ

一金壱万円也
伊万里市浜町、力武ハルさんより夫故虎吉殿死去による香典返しとして寄贈

一金参千円也
二里町川東、徳久満次郎氏より妻故テル子殿死亡による香典返しとして寄贈

右何れも法外援護資金として処理致しました、右御礼を兼ね御披露申上げます

市福祉事務所

なまこ養殖に拍車

二万貫の水揚計画

市内山代、黒川、波多津の三漁業協同組合では、去る十六日柳井町公民館に於てなまこ養殖につき協議会を開催し、伊萬里灣におけるなまこ養殖に拍車をかけることになり、波多津沖、浦潟沖、七ツ島周辺に投石を行うことになつた、これはなまこの幼体が附着し易く、尚外敵を避けて棲息に便宜ならしめるために行われるもので、完成の暁は一万五千乃至二万貫の水揚が予想されている。

遺児靖国神社参拝

例年行われる戦歿者遺児の靖国神社参拝は、去る二十一日、市福祉事務所池田次長引率の下、九十七名が参加し、今は亡き父に心の対面をし、二十六日全員無事帰省した。

教育映画祭

九日大坪小学校で挙行

映畫の青少年に与える影響は想像以上に甚大である、つまり映畫の教育に占める地位は大きい、学校教育、社会教育に於て視聴覚教育の重要視せられる由縁も又そこにある。

即ち視覚と聴覚による教育が同時に行われ、更に感覺的現実味を以て見る人の心に与える迫力は予想外の効果を伴う、従つてその選択を誤れば結果は全く逆効果となり、与える影響も尠くない、県並市の教育委員会では視聴覚教育振興のため、又教育映畫祭を通じて社会的関心を高めるため、去る十一月九日午前九時より大坪小学校講堂で昭和三十一年度教育映畫祭を挙行した。

上映映畫は『五匹の子猿たち』、『絵をかく子供たち』、『雪国の生活』、『百人の陽気な女房たち』、『佐久間ダムの建設記録』、『野口英世の少年時代』の六篇で、何れも本年度中央教育映画祭最高受賞作品であり、學校、公民館、婦人会、青年団その他BTA等の役職員を初め一般の参観者多数あり盛会であつた。尚本映畫祭は昨年も実施されている。

あなたの人権は守られていますか

人権週間について

新聞や雑誌などで人権侵害或は人権じゆうりんという言葉を見たり、又は話に聞いたりされることゝ思います。このことは私共の人権が侵されることが今以て多い一面、私共が人権について強い関心を持つてきた証拠だと思われます。それでは『人権』とはなんでしようか、

人權とは憲法に規定されている基本的人権を指し、要約すると国家社会に於て、幸福な生活を営むのに必要な人間としての権利ということがいえるでしよう。この人間としての権利は一国内だで保障され擁護されるものでなく、世界人類の各人がこの権利を擁護し尊重しなければならないのであります。そういう意味で一九四八年（昭和二十三年）十二月十日パリーで開催された国際連合の第三回総会に於て『世界人権宣言』が採択され、これが『すべての国民とすべての国とが達成すべき共通の基準』として、全世界に向つて布告されたのであります。法務省では毎年これを記念して人権週間を設け各種の行事を行つて居り、本年も十二月四日より十日迄を第八回人権週間として、暴力の一掃、迷信の打破、売春の防止の三項目を強調事項に、全国一斉に講演会の開催、座談会、特設人権相談所開設等強力な記念行事を実施することになつています。人権侵害つまり公務員の職権乱用による思想、良心、宗教、身体等に対する自由侵害や或は又人身売買、村八分、差別待遇、酷使虐待、私刑、各種選挙における参政権侵害、更に地位慣習経済力、暴力等による強制圧迫等で人権を犯されたと思われる場合には遠慮なくその筋に申出で御相談下さい。

各市町村に法務大臣から委嘱された人権よう護委員があり、又法務局、地方法務局及びこれらの支局が専らその仕事に従事して居ります。又法務局に於てはこの他法律上の紛争、例えば相続、離婚、借家関係の紛争、金銭貸借上の紛争事件等についての法律相談にも応じて居りますので若しお気づきの方は遠慮なく利用されるようお奨めします

「情けは人のためならず」

歳末扶け合い運動始まる

6日～20日

愈々今年も又慌しい年の瀬となりました。昨今経済界は稍々安定し、従つて生活も多少落付いたかに見受けられますが、なかにはまだ住むに家なく、食うに食なき気の毒な方もあるのであります。毎年のこと乍ら責めて正月なりとも、お互いが明るい年越しが出来ますように、去る六日から二十日まで『歳末扶け合い運動』を展開致して居ります、年末ともなれば何かと出費もかさみ、甚だ申上兼ねますが、同じ市民に対するうるわしい隣人愛を以て、何卒応分の御同情をお願い申上げます。

開拓被災者救援金募集報告

さきに民生委員協議会より十二号台風による開拓地被災者への災害寄附金募集を、お願い致しましたところ、何かと出費もかさむ折から市民の皆様の絶大な御協力によりまして、たくさんの寄附金が寄託されました。こゝに廣報を借りまして、御寄附戴きました市民の方々へ厚く御礼申上げます。まだお集め戴いていないところも、期間は経過致しましたが、何卒御寄金下さいますよう重ねてお願い申上げます、尚御寄託戴きました分は次の通りであります。（十一月二十二日現在）

脇田町、平尾婦人會、民生委員協議會、山代東小学校、正力坊、陣内、漁港、屋敷野、木須西婦人會、南波多婦人会、吉田、岩谷、辺古島婦人会、戸須婦人会、馬伏婦人會、東新町、大坪町婦人会、本町三、四丁目婦人会、平山婦人会、伊万里小学校、上土井町、上松島婦人会、南波多町、山代鳴石婦人會、大川内山、大川町田代婦人会、山代町高田、原、波瀬、下場上各婦人会、幸善町婦人会、牧島小学校、波多津町、濱町、白野、波多川小学校、永山、大川内町婦人会、横町、大川町宿

◇今月の納税……固定資産税第三期分

十二月二十五日までにお納め下さい

◇自転車には必ず鑑札を!!……祝祭日には戸毎に国旗を!!!

これから多い

「風邪」について

寝る前には必ずうがいを

心地よい秋も終り冬が近づくと、風邪がふんだんに私達を脅かすようになります。一冬のうちに一度も風邪にかゝらなかつたという人はそう多くはありますまい。風邪は大別して二つに別けることが出来ます。その一つはインフルエンザのように人から人へとうつるものと、もう一つは他人にうつらないものであります。併し最近では、普通に風邪といわれている中でも、インフルエンザと同様にうつるものがありますので、単にかぜ位と油断していますと家族中のものが次から次へと寝込んでしまうことになります、昔から『かぜは万病のもと』といわれていますように、風邪は風邪だけで止らず、気管支炎や肺炎などいろ〳〵の余病を併発して一命にかゝわることにもなりますから、風邪位と軽く考えるわけにはゆきません、又人にうつる風邪の中でもインフルエンザは特に症状がひどく、その上伝染力が非常に強いので、流行地の人々は廣く感染してしまいます。これはインフルエンザヴィールスといわれる小さな病原体が人の口や鼻から侵入して起るもので、若し肺炎を併発すると一〇〇人中約五〇人は死亡するという大変恐ろしい結果をまねきます。予防法は先ず体の抵抗力を養うことです、このためには適当に外気や日光にあたり、又気温の変化に従つて衣服の調節をすることです、特に赤ちゃんや小さい子供さんをお持ちのお母様は常に外気の変化に気をつけて着物の調節をするように心掛けましよう。次に睡眠不足、過労に陥らないようにすることであります、又人混みの中ではマスクをかけ、外出から帰宅したときや、就寝時には番茶、食塩水などで、必ずうがいをするように習慣づけることが大切であります、又インフルエンザには予防注射も効果があります。

論文審査発表

入選作該当なし

かねて『自主再建下伊万里市政今後の方途』のテーマを以て、市が募集した論文の審査は厳選の結果、入選作該当なく、左記三氏が佳作と決定されました。茲に応募者の方々に對し、審査発表の遅延を詫びお礼を申上げると共に右審査の結果を公表致します。

黒川町小黒川松園家彬東
山代町東大久保西山章南
波多町小麥原福永信太

伊万里の映画

今年末には完成？

市と伊万里公民館が共同で計畫したNHK放送「日本の町」伊万里版の映畫化は、伊万里公民館犬塚技師の手でこの春から撮影を開始しましたが、既に予定の殆んどを終り、年末迄には完成し市民の皆さんに御観賞願える予定であります。鍋島焼の製造工程、トンテントン喧嘩祭風景は勿論、波多津町の女相撲など、床しい郷土の風物や民芸が織り込まれております、何卒御期待をお願い致します。

新らしい

民生委員決定

民生委員は三ケ年毎に更新されることになつて居り、昭和二十八年に委嘱された旧委員は十一月末日で任期満了、十二月一日より左記の新委員が委嘱された。

◇山代町（二四名）

氏名	担当区
川久保伸夫	楠久津一
西　貫元	楠　二
川久保フミ	楠久　一
山口精三郎	楠久　二
光武　官一	楠久　三
川田　虎男	福川内
古賀　政次	城
山浦　重三	峰
永島　忠八	鳴石
前島　卯七	久原一区
金子　友助	久原二区
宮地　キク	久原三区
長　井健	久原炭坑
沢谷　隆司	楠久坑
林　与助	立岩
横岳初太郎	立岩
川原　哲次	浦崎
川本吉三郎	浦崎
陣内　幾次	伊重工
中村　虎雄	伊重工
土橋　武次	向山炭砿
小池　博	向山炭砿
永尾　長市	東分、野々頭
原田大太郎	西大久保、西分

◇東山代町（十五名）

氏名	担当区
宇曾　勝次	里上
武田　義信	里下
多久島義一	長浜上
池田　秀元	日尾、長浜下
小野　智照	脇野、天神
松永とみ	浦川内、東大久保
中倉奈良松	流川内、下分
井石　法章	川内野、日南郷
小宮三枝子	大久保上
山田喜惣次	大久保下
原口　禎治	里山炭砿
高橋利三郎	東山代炭砿
杣山　みね	福住炭砿
石川　正明	福住炭砿
笠原愛一郎	福住炭砿

◇二里町（十一名）

氏名	担当区
増田　清次	国見炭砿
吉富　団作	中田
吉水　勝次	内、吉野
馬場　貞庫	作井手、古子
浦川　末次	内馬場、福母
峰　鶴一	金武
力武　菊次	大里上
小森　卯吉	大里下
前田　伊三	川東、西八
福田幸次郎	川東
松瀬　勲	東八

◇伊万里町（三二名）

氏名	担当区
山下新太郎	東新町
夏秋　マサ	幸善町、陣内
志賀　繁一	上仲町、仲町、本町一、二
石橋　巽	搦、本町三、四、上土井
武富　榮助	今町、浜町
山口　孫八	立町、横町、元町
脇山　澄子	相生、上黒尾
水町　幸三	船屋町
小松　一馬	上松島
喜多源次郎	下松島
中島弥四郎	上古賀、下古賀
阿保　キミ	六仙寺
中原　重一	祇園町、柳井町
松本千代作	屋敷野、永山
力武　弥助	白野
田中　光三	東円造寺
福田　初次	西円造寺
八山　繁雄	西円造寺
川原　乙松	富士町、渚
田代喜平太	新田
内山　長助	下土井、中井樋
前川　久吉	岩谷、小石原
石井　四郎	市村、市山
草場　榮次	大川内山
西　智源	吉田、正力坊
草崎　耕一	福野、平尾
久保田善四郎	脇田
荒木　基礎	平山、岩立
前山ミツエ	木須東
副島　徳一	木須西
相良　松次	本瀬戸、中通
松田虎之助	早里、漁港
橋口　一乗	全町

◇松浦町（九名）

氏名	担当区
中野　筆雄	上分
山口　幸雄	中通、金石原
原口　真	久良木、宿分
田島　嘉平	村分
副島　マツ	岳坂、梅岩
加々良銀市	東分、上原
井手　長一	藤川内
波多野豪夫	下分（東）
松本　儁	下分（西）

◇大川町（一四名）

氏名	担当区
北野　龍夫	山口
田丸　剛	立川炭坑
田代　行雄	立川、中
田代　正男	立川、上
田代　農造	立川、下
中島　実	井手口
古藤袈裟雄	川原
田中　辰起	川西、相ノ谷
木下　雅	宿
野中　善市	駒鳴
中島　勝	長野
川崎　健治	戸石川
池田茂三郎	片竹
田代　富太	東田代

◇南波多町（九名）

氏名	担当区
井手善次郎	重橋、谷口
藤田　文雄	井手野
前田　末治	古川、笠椎
前田　一男	大川原
瀬戸　三雄	府招上
岩永　治助	原屋敷
古野　清一	高瀬、大曲
熊川　末雄	水留、古里
斉藤　庄平	小麦原、府招下

◇黒川町（八名）

氏名	担当区
森戸メグリ	干潟、大黒川、奥野
梶原　武一	花房、畑川内
峰田　友一	長尾、真手野
松浦　勝	黒塩、椿原
和島熊太郎	浦分、小黒川
田中千代治	福田、浦潟
江里　義雄	牟田、立目、横野、清水
山崎　秀男	塩屋

◇波多津町（九名）

氏名	担当区
栗原　亮	辻
原田　勇作	畑津、内野
松下松之助	木場、開拓
田原善治郎	筒井、井野尾
前田善太郎	坂本、田代
市丸亀次郎	中山、津留主屋
中島　三男	馬蛤潟、煤屋
正野　重信	浦
高森　安平	浦

名刺交換会

新春を寿ぎ左記に依り名刺交換会を開催致しますので市民各位の多数御参加を希望致します

記

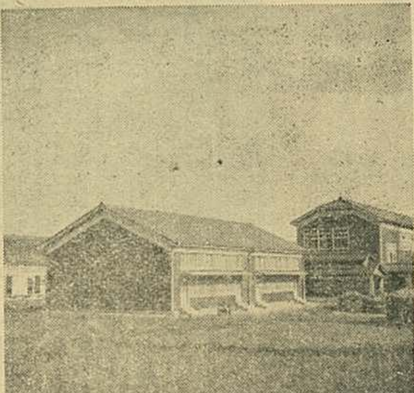
一、日時　一月一日　午前十一時
二、場所　伊万里小学校講堂
三、会費　一五〇円（芳名録代を含む）
四、申込先　市役所　総務課庶務係
五、申込方法　十二月二十日迄に勤務先、職名（又は住所、職業）を明記し、申込書を添え御申込下さい。

（註）
①職域団体では取纒め申込み願います
②申込書は係へ請求の事
③期日後の申込みはお断り致します

海外抑留同胞

無病息災 引揚促進 祈願祭執行

戦後十年相次ぐ引揚げで、大多数の在外同胞は引揚げを終つたが、ソ連並に中共地区には、未だに異郷の地に悶々の日々を送る同胞も尠くない、これらの留守家族は、一日千秋の思いで、夫の、子供の又父の帰りを待つているのである。日ソ交渉妥結し、明るい見透しがついたとはいうものゝ、年内の帰還が出来るものかどうか、若し出来ないとなれば、又極寒冷下の邊境で、この冬を越さなければならないことになる、生死の程も明らかでないこれら在外同胞の無病息災と引揚促進を神かけてお祈りし、併せて留守家族の方々を、お慰めしようという伊万里市、有田町、西有田村共催の祈願祭が十一月十六日午前十時半から、香橋神社で催された、遺家族を初め市その他関係機関者多数列席の下厳かに祭典を行い、終了後は母子会館に於て慰安会を開き、これら留守家族の無聊を慰めた。



増築落成した山代中学校々舎

冬休みの指導心得

社会生活の中で、正月という大きな「ケジメ」を中にして、設けられているのが冬休みの特色であります。従つてこの休みは、学習よりもむしろ生活経験のよい機会として活用されるよう、導きたいものです。歳暮やお年玉として、品物をもらつたり、お金をいただいたりすることも多いので、無駄使いをつゝしみ、物を大切に使うように考へさせたいものです。又来客も多く、時としては客として、子供も招かれる場合もありましようから、こうした機会を利用して来客への接し方や、訪問の仕方などについての心得を教へ、経験させることも大切です。尚年末年始はとりわけ忙しい時なので、大掃除、来客接待、使走りなど親子一緒になつて年の瀬を越し、新しい年を迎へるという協力一致の喜びを味わせたいものであります。

市主催

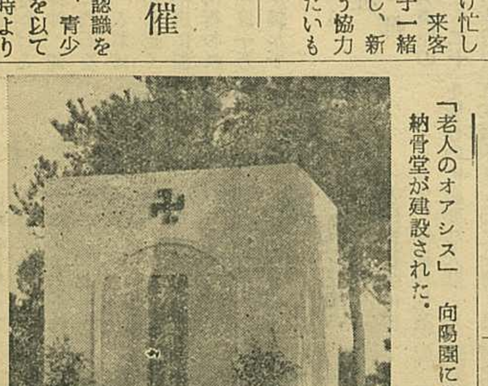
辯論大会開催

市政並時局に対する認識を普及浸透すると共に、青少年の善導を図る目的を以て、十一月十日午後一時より伊万里小学校講堂に於て、初の試みである市主催辯論大会が開催された、市教育委員会並市青少年問題協議会が後援で、市内の高校、中小学校の生徒児童十二名が参加し

●伊万里市の発展策
●青少年の不良化に思う
●新農村建設について
●世の親に希望する

のテーマでそれぞれ新しい世代の抱負を述べ注目をひいた、尚論旨、音声、態度等各方面から厳重審査の結果、次の五名が入選、それぞれ賞状並賞品を授与され、尚出演者には参加賞が贈られた。

一位	伊中二年	山口純子
二位	大川中三年	鳥飼展幸
三位	山代中一年	峰松正大
四位	大坪小六年	大川内正登
五位	伊高二年	北村敏明



「老人のオアシス」向陽園に有志の浄財を以て納骨堂が建設された。

端数貯金に郵政局長賞

市職員の団体貯金表彰さる

「塵も積れば山となる」

戦後十年、生活の安定は物心両面とも隔世の感がある、併し世界経済を離れて国家の存立は考えられないし、文化の発達の目覚しい現在では、先ず国家の財政的基盤が何より先決である。貯蓄運動が強く唱えられる由縁も亦そこにある、及ばず乍ら貯蓄増強の国策に沿うため、市職員の端数貯金を始めてから丸一年を経過したが、何しろ四百人近い大世帯のため、去る十月末で現在高七二一、二三八円の多額に達した、今回全国的に展開中の「国土建設郵便貯金特別増強運動」を機に熊本郵政局長より表彰を受け、然もわずかな端数貯金が纒まれば予想外の足しになり、職員一同に喜ばれている。

乳牛飼育の方にお知らせ

」農林水産課「

乳牛のブルセラ病検査が、去る三日から実施されています。この検査は昭和三十一年三月、家畜伝染病予防法の一部改正により、毎年一回必ず検査を受けねばならないことになりました。ブルセラ病とはバング熱とも呼ばれ、牛、山羊に感染して流産、早産を起し、受胎困難、不姙の原因となり、又人に感染して熱性病患者である波状熱を起す、人畜共通の伝染病であります。

●新しい健康手帖の交付、結核検査、ブルセラ検査に合格した乳牛は新しい「牛の健康手帖」が交付され、同時に耳に輪を入れます（耳標）、この手帖は全国共通のもので、この牛の一生この手帖が入用なわけで、だから今後乳牛はみんな耳標がついていることになります、畜主は健康手帖を紛失しないように、大切に保存しなくてはなりません・乳牛の売買には健康手帖が牛について新しい畜主に渡されることになります、従つて耳標のついてない、つまり健康証明手帖が出来ませんので是非受検されるようお知らせ致します。

歳末防犯心得

①押売りと思つたら『いりません』とはつきり断わる事が先ず第一又忍込みや強盗等は人が居ても入つてくるので昼間でも鍵をかけておく必要があります。
②空巣の用心には『家を留守にしないこと』が先決だが、已むを得ないときはお隣りに留守を頼むことが肝心です。
③外出時には特に手提げや風呂敷包みに注意する事
④銀行や郵便局、組合等の金融機関では窓口取扱に特に注意すること。
⑤不幸にして被害を受けたときは、現場に手をふれず至急警察に連絡する事

係記

後々の参考にして戴くため、今回表紙を作り、各戸に配布することに致しました、洩れなく保存願い、日々の生活に直接関係を持つ市政に対し、一段の関心と協力をお願い致します。